



## 明日から冬休みです



今日は2学期最終日でした。3時間目に2学期終業式をオンラインで実施しました。今年度初の1学期始業式に、校長から「かわち学園のみんなにがんばってほしいこと」を3つ話しました。一つ目は、「どんなことがあっても『大丈夫だよ!』と応援してくれるお友達がいっぱいいる教室をつくること」でした。楽しいことはともに楽しみ、つらいこと悲しいこと恥ずかしいこと・・・友達にそんなことが起こったら『大丈夫だよ!』という温かい雰囲気・言葉かけをする、そんな教室ならみんなまたそこでがんばろうという気持ちももてます。そんな教室になるようにまず自分からそういう人になってほしい」と話しました。二つ目は「いつでも・どこでも・だれとでも力を合わせることでできる教室をつくること」です。決まった友達と仲良くしたり、協力したりすることもすてきなことです。でも、教室のだれとでも力を合わせることもできるようになったら、その教室の可能性は何倍にもふくらみます。いろいろな友達と関わりをもつことで視野も興味も広がります。身近にいる誰とでも協力できる術を身に付けていれば、世界中どこに行っても仲間をつくることできるようになります。今から成長する皆さんにとっては活躍する舞台は世界です。その力を培うためにもまずは教室からがんばってほしいと思っていますから。三つ目は「チャレンジすること」でした。何かにチャレンジするという気持ちは尊いものです。自分の力を試すためにも『チャレンジ』をしてほしいことを話しました。振り返ると、2学期は学びも行事も充実していました。教室で身に付けた新しい知識、みんなと力を合わせる学校行事、自分たちで創り上げる学年行事等、4月にみんなに話したことが次々と形になっていく様子を見て、かわち学園のみんなの底力を強く感じました。今日は、ご家庭に通信票を持って帰る日です。評価はさまざまですが、一人一人には必ずがんばったこと、伸びたことがあります。それはどこなのか、お子さんから十分に聴き取っていただき、3学期にまたがんばることのできるエネルギーのもと『ご家庭の皆さんの労いや応援の一言』をいただければと思います。

### 7年生

#### 高齢者福祉についての提案発表会

12月11日(月)に7年生の総合的な学習の時間で調査・研究したことをまとめ、発表会を行いました。テーマは「高齢者福祉について」です。1学期に町内の高齢者福祉施設を訪問したことで、さまざまなことを考えるきっかけになりました。一人一人が課題を設定し、調べ、似た視点をもつ友達とグループを組みプレゼン資料を作成しました。今回は、河内町長・河内町議会議長・教育長・福祉課長・企画財政課長・教育委員会局長・高齢者福祉施設代表等をお招きし、「町の高齢の方の生活のしやすさ・社会とのつながりづくり」の視点から6つの班がまとめた提案を聞いていただきました。この学習は国語の学習とつながっており、「根拠を明らかにして自分の意見を伝える」というところにも着目して進められました。町長や議会議長・教育長からの質問や意見にも堂々と答える7年生。たくましさを感じました。



＜提案発表＞

1. 介護サービスについて
2. 高齢者との交流の場  
づくりについて
3. 医療機関の設置について
4. 高齢者の買い物支援に  
ついて
5. 高齢者施設の設置に  
ついて
6. 高齢者が暮らしやすい公共施設・設備について



## 通信機器等に関するアンケート

茨城県では、定期的に児童生徒を対象に、インターネット接続機器（携帯電話・タブレット・ゲーム機器等）に対しての実態調査を実施しています。質問内容は、主に利用時間やその内容などについてです。その中で下記のような気になる回答がありました。

（問）あなたは、知らない人とネット上でやりとりしたことがありますか。  
また、その人と実際に会ったことがありますか。

「はい」と答えた割合について

4～9年児童生徒数266名中約30%がネット上で知り合った人とやり取りをしていると回答しました。そのうち約13.5%が実際にその人と会ったことがあると回答しました。

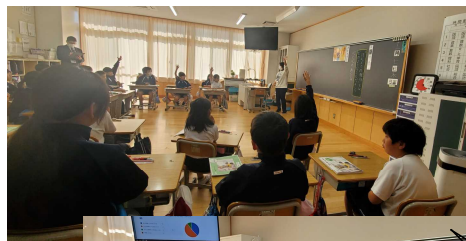


ネット上で知り合った人と実際に会っているケースが本校でも「一定数ある」という私たちへの警鐘となる結果でした。児童生徒はインターネットゲーム、LINE、Instagram、TicTok、X(旧Twitter)等、さまざまなSNSを利用してつながりを広げているようです。ご家庭によって使い始めの時期が異なる通信機器。周囲の大人がその機能と危険性を正しく理解し、「上手な活用法」「トラブルに巻き込まれたときの対処法」等をしっかり身に付けさせていかななくてはなりません。冬季休業中は児童生徒にとっては管理されない自由な時間が増えます。通信機器の利用については保護者の皆様の責任下で行われるものですが、「だれかが傷ついたりいやな思いをしないか判断すること」や「危険なことがおきたときはすぐにお家の方に相談すること」等はしっかりとご家庭でご指導ください。また、4～9年生には通信機器の利用に関するご家庭でのルールづくりについて、参考プリントを配付してあります。必ず目を通していただき、正しい利用のためにお役立てください。



## みんなの力で未来を創る

かわち学園では話し合い活動をはじめとする特別活動や道徳の学習にも力を入れています。自分たちの生活をよりよく潤いのあるものにするために「自分たちで課題を見つける経験」、それを解決するための方法を探るために「みんなで考え、話し合う経験」「考えを受け入れたり折り合いを付けてみんなの『よい』を見つける経験」そして、みんなで決めたことを試してみても、「さらに工夫する経験」等を積み重ねながら個人・集団の成長をめざしています。道徳の時間には、さまざまな感じ方や考え方に触れながら、道徳的価値についての理解を基に自己を見つめ物事を多面的・多角的に考えること、自己の生き方について考えを深めていくことをめざしています。2学期はどの学級でもたくさんのことに触れ、考え、悩み、話し合い、成長してきました。この活動を大切に、みんなの力でみんなの望む未来を創ることができるようになってほしいと願っています。



児童生徒会では、SDGsを意識した取組みを展開しました。



道徳や特別活動を楽しみにしている児童生徒もいます。みんなで考えることの大切さがわかってきました。



(文責 秋山 美穂)